

## 2022 年度文系チャレンジ講座（第8回）を実施しました

1月25日（水）に経済学部の豊島 慎一郎先生を講師に迎え、「ボランティアと現代社会」というテーマで、文系チャレンジ講座第7回を実施しました。国東、別府翔青、大分雄城台、大分鶴崎、大分西、臼杵、竹田、安心院、中津南、大分豊府、大分東、玖珠美山、日出総合、大分の14校251名が受講しました。今回の講義で、豊島先生はまず、ご自身の大学生の頃に参加したボランティア活動について、映像を交えて説明されました。バリアフリーを目指す活動に関わる中で、ボランティアについて大学で専門に研究することになったとお



### ボランティアとは何か

#### ■ ボランティアの代表的な定義

- 「一人ひとりの尊い命を守り合い、自分たちの考えで、自分たちの手で、だれもが安心して暮らせるまちを築き、平和な社会を実現するための活動、そしてその担い手」

・安藤雄大監修、2002、『ボランティアまるごとガイド』ミネルヴァ書房。

話されました。

次に、「ボランティアとは何か」ということ、またその特徴について紹介されました。1 自発性（やる気）、2 無償性（手弁当）、3 社会性（世直し）がボランティアの大きな特徴であり、1

### ボランティアの基本的特徴

#### ■ 自発性

- 「なんらかの生物学的必要性や経済的必要性に迫られた行為ではなく、また物理的ないしは社会的に強制されて行う行為ではないこと」→「やる気」

#### ■ 無償性

- 「経済的な報酬（金銭、物品、サービスなどを目的としないこと」→「手弁当」

#### ■ 社会性

- 「活動が他人や社会の役に立つこと」→「世直し」

・内海ほか編、1999、『ボランティア学を学ぶ人のために』世界思想社。

995年1月17日阪神淡路大震災後のボランティア活動の実際の様子を、資料映像を用いて話されました。高校生や大学生など多くの若者たちが、初めてボランティア活動に参加し、被災者の方々とコミュニケーションを取りながら行うことの重要性について学んでいました。その後NPO法が成立し、日本人のボランティア活動が高まり、現在では社会貢献に関心を持つ人は6割以上になっているという現状を説明されました。

### NPOとは何か

#### ■ NPO(Non-Profit Organization)

- 利益配分を目的としない民間団体（民間非営利組織）
- 社会的な使命を達成することを目的とした団体（組織）。ボランティアは個人が主体。個々のボランティアの意思を超えた、組織としてのボランティアがNPO
- 民間の立場で活動するものであれば、法人格（特定非営利活動法人、通称NPO法人）の有無や種類は問わない
- 特定非営利活動促進法（NPO法）第一条。この法律は、特定非営利活動を行う団体に法人格を付与すること並びに運営組織及び事業活動が適正であること等により、ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動としての特定非営利活動の健全な発展を促進し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

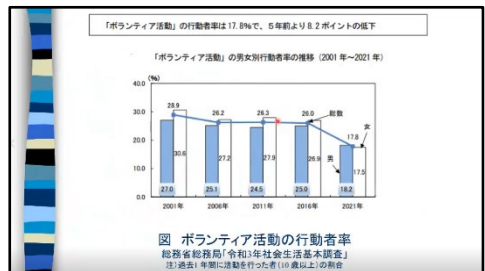
#### ■ NGO(Non-Governmental Organization)

- 非政府機関、主として国際協力・国際交流のNPO

ボランティアを通して学んでほしいとまとめられました。

受講生からは「ボランティアをすることによって、お互いに支え合って温かい気持ちになり、生きがいを持つ人が増えてとてもいい活動だと思った。私も募金やボランティア活動に積極的に参加したい。」「ボランティアにも様々な種類があることを改めて知った。これから他者の問題を自分のこととして受け止めるということを大事にしていきたい。」「コミュニケーションをとることによって

さらに、日本各地で発生した自然災害によって障がい者となった人々への支援活動が、現在進んでいる様子を紹介し、これから望まれる市民と行政が協同していくボランティア活動について話されました。最後に、人と人とのつながりから得られる楽しさ、喜び、生きがいなどを、ボラン



### まとめ

- 世の中には、私たち一人ひとりが何とかしたいと思っても、なかなか解決できない問題（社会問題）がある
  - 「地域コミュニティの衰退」「災害復興・支援」「貧困・格差」など
- みんながそれぞれの生き方や生活を大切にしながら、お互いに協力し合って、豊かな地域や社会をつくる
  - ボランティアに参加することは、人びとが社会の一員として社会の現実を直視しつづける（気づき）や（学び）の一つとなりうる
  - 多様性への寛容さやつながり、共感を大切にしたい（助け合いや学び合い）
  - 楽しさ、喜び、感動、生きがい……人と人のつながりを通じて得られるもの
  - 肩肘張らずに、気軽に、自分ができること、やりたいことを
  - 利己的ではなく、利他的に、「お互い様」

被災した人の心を和ませることが出来たり、孤独な思いをする人がいなくなったりして、インターネットの会話にはできないことがコミュニケーションや手紙ではできると思う。」今回の授業は、とても良い経験になった。ボランティアの本当の意味を学ぶことができた。」等の感想が寄せられました。